

国英地区 地域づくり懇談会 議事録

1 日 時 平成25年1月16日(水) 19:00~20:40

2 会 場 国英地区公民館

3 出席者 地元出席者 17名
市側出席者 24名

竹内市長、深澤副市長、羽場総務部長、松下企画推進部長、堀防災調整監、山根農林水産部長、藤井都市整備部次長、山本環境下水道部次長、久野中山間地域振興課長、浅田河原拠点地域振興センター所長、浅井体育課長、富山危機管理課参事、尾室企画推進部次長

<河原町総合支所>東田支所長(司会)、山本副支所長、谷口市民福祉課長、木下産業建設課長、山根水道局河原営業所長、露木地域振興課課長補佐、佐々木教育委員会事務局河原町分室参事、大塚地域振興課主事

<事務局>安本協働推進課長、谷村協働推進課主任、岡田協働推進課主任

4 「地域防災計画の見直し」について

スクリーンに基づき説明(危機管理課参事)

5 「協働のまちづくり」についての報告

(まちづくり協議会会長) ※スクリーンに基づき説明

国英地区は千代川と八東川に囲まれた、豊饒の地です。川の向こうに片山部落と霊石山、それから高津原を隔ててこちらの方に釜口と、ちょっと離れたところがあるんですけども、非常にまとまった豊かな土地だと思っております。14自治会345所帯1,200人の地域です。私たちいきいき国英が目指しておりますふるさとと申しますのは、住みよい、活気ある、人が輝く、共に支える、魅力ある、というこの5つでありまして、この目的に沿って、いろいろな活動が行われております。

その活動をするために5つの専門部会を設けております。総務・広報部、生涯学習部、それから健康・福祉部、安心・安全部、環境・美化部を設けておりまして、それぞれその目的に向かって活動をしております。

総務・広報部というのは全般にわたって見ているわけですが、いま特に力を入れておりますのは、霊石山の開発です。と言いますのは、霊石山はこの地区の遠足の場になっております。私たちが子どもの時には、この木を倒している場所は全部芝生でして、遠足の時はそこに行って松の枝を敷いて滑ったりして、非常に楽しい場所でした。いまはちょっと荒れてしまい、木

総務・広報部

◆主要テーマ

・広く意見を集約し、協力を得ながら地域コミュニティを高めるふるさとづくり。

◆実施内容

- ・総会、役員会、理事会
- ・「いきいき国英ふるさとづくりだより」の発行(毎月)
- ・ホームページの運営
- ・国英地域防災無線を活用した地域情報発信
- ・霊石山保全活動(4月・11月)
- ・国英を語る会



が生えているものですから、それを総務・広報部のかた、それから有志のかたを中心に、木を切って昔の芝生にしたいものだと頑張っているところです。3年目になります。

生涯学習部ですけれども、各部落を知った方がいいということで、ちょっと離れている釜口の部落の散策を今年を行いました。緑浄寺というお寺で和尚さんの法話を聞き、すぐ後ろにある公民館でお茶をいただきました。さらに六日市部落に移りまして、六日市は柿の産地ですので、干し柿を作るということをして帰りました。

それから、いきいき国英納涼祭を行いまして、この前の広場で皆さんと楽しいひとときを過ごしました。これは、私は会長をしていて嬉しいというか、本当に感激をするんですけれども、何もなかったグラウンドに、2時間ぐらいで観覧席とかテントとか、とにかく設備が全部整うわけです。その労力といいますか、国英を思う心というのは、毎年のことながら感激いたします。2時間で全部設備を整えて、また終わりましたら2時間で全部撤去するのです。バザーの焼きそばを非常に皆さんが気に入っておられまして、かなりたくさん用意するんだけど、売り切れてしまいます。そこではいろんな行事を組んでおりまして、子どもから大人まで非常に楽しめるようにしております。子どもから大人まで楽しむということで、子ども会に鳴子踊り、高齢者の集いのかたに国英音頭と傘踊りをしたりしていただきました。女性にも活発に出ていただきまして、地区外からも曳田のなでしこ会の皆さんに来ていただきました。それから各チームの女性のかたがたも、活発に踊ったりいたしました。それで、これは新聞にも出たんですけれども、大江の手踊りは、三谷から昔大江に伝わったんだそうです。しかし、いまは三谷では衰えてきてしまっているので、それを大江の方からまた習って、三谷でも再び始められるという経緯のある手踊りです。こちらの方ではもちろん昔から非常によく知られております。

素晴らしい地域の伝承芸能



大江手踊り保存会



今在家傘踊り保存会



三谷手踊り保存会



山手手踊り保存会

今在家の傘踊りも伝統がありますし、見事なものです。山手の手踊りは、手ぬぐいだけを持って踊るんですけれども、非常に洗練された踊りとなっております。

健康・福祉部ですけれども、子どもから高齢者まで皆が支え合い、健康福祉活動を高め、心身ともに健康でいきいきとした生活がしたいということです。いきいき健康ウォークは、ここを出発して釜口まで歩きまして、そして釜口を散策し、勉強して帰ってまいりました。これは山越えをするんですけれども、その道がすっかり荒れていたのので、行事の前に人が行って、綺麗にさせていただきました。

敬老会も健康・福祉部の活動としてやっております。以前の公民館は広間が2階だったものですから、敬老会の時は非常に気をつかいました。階段の上がり下がり全部人がつきまして、それからトイレも非常に少なかったものですから気を使いましたけれども、今年はどうして公民館が非常に良くなったものですから、安心して、またお年寄りのかたにも非常に喜んでいただいたと思っております。いろんな芸能も入ってきまして、話も弾みました。それから、国英地区で昭和50年頃からずっと続いております健康まつりですけれども、今年が37回で、主に年寄りのかたが集まっているいろんなお話を聞いたり、部員

のかたの心づくしの弁当を食べたりして、皆がえらく楽しい時を過ごしました。これは毎年ありまして、この国英地区では伝統ある重要な行事になっております。その他、異世代交流事業というのをやっただいておりまして、子どもがカードやお菓子を作って独り暮らしのお年寄りのところを訪ねております。それから、高齢者の集いというのがありまして、年6回開催されております。これは高齢の有志のかたに集まっていただいて、いろんな運動をしたり、正月用の松と竹の飾りを作ったりします。今年は初めて、総務部とか有志のかたと一緒になって、門松を作りました。これに慣れていらっしゃるかたがあって、非常に立派な門松ができました。

次に安心・安全部ですけれども、これは毎年のように救急救命講習会をしておりますし、自警団との連絡会等をして、この地区の安心安全について活動しているんですけれども、街頭での挨拶運動なんかもこの中に入っております。また、いま鳥取市でもありますけれども、防災マップ作りというのをしております、2、3日後には完成した防災マップを皆でもう1回検討しようという会が持たれることになっております。

環境・美化部では、年2回花を植えて、各部落に配っております。各部落で集会所の前なんか非常に賑やかになっております。それから、花いっぱい運動とかりサイクル講習会、マリーゴールドの染物づくりなどしております。大きな行事としては、三谷の老人会が中心になって菜の花を広めようという取り組みをしています。これは三谷部落に行く道路なんですけれども、菜の種を撒いていて、毎年こうして綺麗な景観が見られます。今年は作っておられない田んぼを借りて、菜の花を育てております。それから今年は、グラウンドの向こう側がちょっと急な斜面になっておりまして、草が生えて荒れておりましたけれども、ここの草を刈ってシートを敷いて、芝桜を植えました。今年の秋は天気の良い日が非常に少なかったんですけれども、農家の忙しい仕事をわざわざ割っていただいて、綺麗に芝桜を植えることができました。まだ十分ではないと思いますけれども、来年の春には綺麗な見えるんじゃないかと思ってお

健康・福祉部の活動

高齢者つどいの会
(年6回開催)



菜の花プロジェクト



スポーツ広場西側の法面の環境整備



ります。

ひとりひとりが参加して交流するふるさとづくりを目指して、頑張っております。その会に出ますと、いままで知り合いでなかった人とも親しくなりますし、この国英地区がいきいきと明るいところになるのではないかと考えております。以上が活動ですが、以前の2階建の公民館に比べて非常に充実したスペースを作っていただきまして、本当に感謝申し上げます。あとはこれを私達が如何に使うかということが課題ですので、いきいきふるさとの活動を通じて十分に活用し、期待に応えたいものだと思っております。

6 地域の課題についての市長等との意見交換

霊石山登山道整備等について

- ①霊石山伊勢ヶ平（いせがなる）に至る登山道整備、並びに、拡幅施工をお願いしたい。
- ②伊勢ヶ平にトイレ完備の風雨退避小屋を設置していただきたい。

※国英地区では、伊勢ヶ平保全活動に取り組み、近年小・中学校の遠足も始まった。トイレ付退避所が必要であり、バキュームカーの通行や、水・食べ物ほかの運搬が急務で、荒廃している登山道を整備し、子どもをはじめ、市民の快適な憩いの場を復活したい。

<担当部局の所見等>

【農林水産部】

- ①地域の各種振興策については、地域の皆様の主体的取り組みを尊重しながら、協働で取り組んで参りたいと考えております。

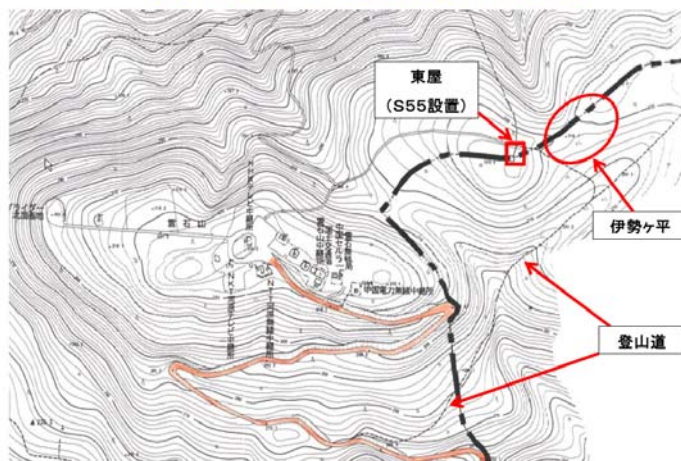
伊勢ヶ平に至る登山道、伊勢ヶ平の整備につきましては、国英地区、土地関係者、行政区の隣接である八頭町と協議して検討したいと考えています。

- ②トイレ完備の風雨退避小屋の設置につきましては、昭和55年に伊勢ヶ平近くに東屋を設置しておりますので、原材料の支給などにより地域と協働しながらその施設の一部を改修し、簡易トイレ施設と併せた退避小屋として整備していきたいと考えております。

（農林水産部長）

私もこの1月8日、現地を見させていただきました。雪がありましたけれども、ちょっと歩きました。先ほどまちづくりの方で、伊勢ヶ平の除草等の整備をされているとのことでしたが、林道から分岐しました登山道が一部急だということで、ここに繋がる道の整備をというご要望だとお伺いしております。それで、ご承知のとおりだと思いますけれども、ここの伊勢ヶ平に行きますには、霊石山の山頂から分岐するという道もございます。しかしここがかなりきつくて、荷物を運ぶのも大

伊勢ヶ平付近の状況



変じゃないかと感じたところでした。

まず、この道の整備についてですが、画面の黒い一点鎖線が鳥取市と八頭町の境界でして、鳥取市と八頭町を跨っているということがございます。この整備につきましては、この国英地区とそれから土地の関係者のかた、それから八頭町の方と協議をいたしまして、どのような整備ができるかをまず検討をしてみたいと考えているところです。

それからトイレのご要望です。山頂には仮設のトイレがございましてけれども、確かにそこまでの道は急ですし、距離がございまして、伊勢ヶ平の近くに東屋が昭和55年に設置されておりますけれども、かなり古くなっておりまして、ここの柱の下が朽ち果てているということが現状でございますけれども、検討いたしました結果、この東屋を修繕してトイレを設置してはどうかと考えております。このトイレにつきましては、

いわゆる仮設トイレでは汲みとりをしなければいけないのですが、場所的に難しいものですから、よく高齢者のかたが使われるような簡易なトイレを遠足の時などに設置して使う、というようなことをしていただけたらなと思っているところです。

それで、この修繕等につきましては、市の農林水産部の方で資材をご提供いたしますので、地域のかたにご協力いただいて一緒になってやりまして、そのトイレの設置ということにさせていただけたらなと思っているところです。伊勢ヶ平からそんな遠くないところにございますので、この東屋を活用してトイレを設置していただけたらと考えているところです。

(地元意見)

原材料支給はいいんですけども、人間が担いで行くのか、でなければどうやって運ぶのか、そういうことを考えてもらわないと。距離も勾配もあるんですわ。草刈り等のチェーンソーを持って行くのはまあまあ何とかなるんですけど、そこまで材木などの原材料を持って行くにはどうしたらいいのかということを考えていただかないと。地域のボランティアで行けということでしたら、なかなか人が集まらないんじゃないかと心配するんですけどね。

(農林水産部長)

おっしゃる通り、原材料の単なる支給というだけでなく、現地に持って行く手法、手段は考えないといけないと思います。一緒に相談しながら、手段を考えたいと思います。

(地元意見)

ちょっと昔のことを言いますと、この霊石山に行くには今在家から坂根というところま

東屋の現状



で、板橋でした。生徒が時々落ちるものですから、遠足の日にはその板橋の下に漁師さんがちゃんと待っておられて、落ちたって言ったらすぐ助けに行っておられました。妹が落ちたもんだから姉さんが一緒に飛び込んだというような話もございまして、前は遠足も非常に大変でした。

トイレの件なんですけれども、この前、生徒を連れて上がられた小学校の校長さんが、女子のためのトイレを作ったんだけど、男子も、どうも外ですることができなくて女子トイレを使おう使おうした、ということをおっしゃられました。

天辺は芝生があって、私たちも懐かしいのですが、女子もいたわけで、いまになるとトイレをどうしていたのかとつくづく思います。いまは女子どころか男子も、備えつけの便器がないとできない時代になっておりますので、できるだけ早く作っていただきたい。その先生も、トイレがないので頂上には長いこと留まれない、トイレができたらもう少し遊ばせてやれるんだけど、ということをおっしゃられました。いま聞きますと、資材を運ぶとか、後始末とかいろんな問題点があるようですが、できるだけ早くそういう設備を整えていただけたらと思います。

(竹内市長)

我々も支所とも一緒になって検討した結果、伊勢ヶ平に近いところにトイレがあるのがいいと考えています。あの場所なら近いですね。近くて、ちょっと高くなるんですかね。少し高いところにああした東屋があって、元はたいへん展望のいい場所だったようですね。ずっと先の方まで見えたというようなことを聞いていますが、ここの東屋のところを、トイレ兼ちょっとした避難小屋みたいな感じにできるんじゃないかというふうに考えています。これはあまり大きな工事をしたりすることでもないし、鳥取市として必ずやろうと考えています。新年度の予算措置ができればすぐにかかれるように、地元の人、あるいは支所と相談をして必ずやろうと考えていますから、いろいろ連携を取って進めていただけませんか。

この伊勢ヶ平の草刈りなどもしておられるように聞いておりますので、これにも地元のかたの協力も得ながら、支所の職員などにも出てもらってということで。原材料は市の方で、公費で支援しますので、必要な資材はこれとこれだと言っていただければと思います。工業者に発注するという方法ではなくて、何とか皆で力を合わせて作ると、愛着も湧くわけですね。トイレについても必要なときにはいつでも使えるようなかたちで、特に子どもたちの遠足とかそういうときには、あらかじめ下見なんかもあると思いますので、そのときにちゃんと用意しておく。普段、常時トイレを置いておくとか却って汚れたりもしますから、それが終われば綺麗にして管理をしておくというようなことができれば一番いいんじゃないかと話し合っています。いろいろ実際に計画してみて、さらにいろんな課題、問題点があれば、さらに検討したいと思います。トイレに関しては、この場所での整備を考えているということで受け止めていただきたいと思います。

(支所長)

我々総合支所の職員も、いろいろボランティアに出ております。去年も八上の公民館の屋根を改修するのに、市の職員も出て一緒に作業したりして直したりと、そういうかたち

で汗を流しています。霊石山山頂のトイレの整備につきましては、遠足が5月にありますので、早めに相談させていただいて、なんとか子どもたちの遠足までに間に合うような方向で進められたらなと思っています。

(地元意見)

いま思い出したんですけれども、私どもが霊石山に上がったころには、伊勢ヶ平からちよっと下ったあたりに湧き水が出ていたんですよ。そこでよく水を補充したり、手を洗ったりというふうに使って使っていました。最近、山の上でそういう湧き水が出る場所は珍しいと思うんです。遊歩道の近くだと思うんですけれども、そういうところを、もし、年配のかたとか地元のかたで記憶があるようであれば、話題性もあると思うので、確認でもして、ちょっと考えていただきたいなど。

(支所長)

私どもより年配のかたは、遠足かキャンプかで湧き水を汲んだことがあると思うんです。たしかにあったというのは、私も記憶があります。まず、いきいき国英のかたがたと一緒に現地に行きたいと思います。いずれにしましてもその湧き水はいまでもあるのか、それと、衛生的にどうなのかということもありますが、そのあたりも総合支所の方で協力させていただきますので、よろしくをお願いします。

(地区公民館長)

昭和40年代初めぐらいまでは霊石山にはたくさん上がっていたので、非常に懐かしい思いをしていた場所です。我々が保全活動をしようじゃないかという声が挙がって、いま、草刈りとか、そしてまたこの度のお願いとか、こういう経過があったことをお伝えしておきたい、部長さんがたにもお伝えしておきたいというのが私の気持ちです。

同時に、ここ3年間ほど、河原地域の小学生、中学生が校歌を歌いながらあそこを闊歩するというようなことも、たまたま初年度の草刈りをした時点から、学校の方でもそういった計画をしていただいているという経過がございます。そういったことで、大人も子どもも、この因幡故郷の正に真ただ中の、我らがお山という気持ちが非常に強いのが霊石山であるということ、ぜひ、私は訴えておきたいなと思います。

国英地区公民館西側の側面改修について

- ①公民館の建つ台地西側面一帯を抜本的改修していただきたい。
- ②同一地面に隣接する旧小学校校舎（現私有物件）の立地西側面の改修を検討してほしい。
※西側はフェンスも無く、軟弱・急傾斜のまま長い間放置されたままである。側面下に田地と墓地があり、雨水が流れ込み、土砂が崩落して迷惑をかけている。特に老朽化した校舎と土台や斜面壁は亀裂しており、災害の危険性があるので検討されたい。

①、②とも人的・物的損害につながるのを考慮されたい。

<担当部局の所見等>

【企画推進部・河原町総合支所】

グラウンド西側法面及び旧小学校校舎西側擁壁の抜本的な改修については、フェンスの設置、法面の地盤改良、擁壁整備などを含め、適切な対策について今後検討していきたいと考えています。

なお、当面は、昨年、地域の皆様のご協力をいただいて実施した法面への植栽について、平成25年度も引き続きご協力をいただき、植栽の追加による法面保護に取り組みないかと考えています。

(企画推進部長)

先ほどの地域の取り組みの中で、西側の法面に植栽等の整備をしていただいたということで、たいへんありがとうございます。感謝申し上げます。このグラウンド西側法面への転落防止フェンスの設置であるとか法面の地盤改良につきましては、維持管理とか、それからあそこの強度とか、こういうものを調査いたしまして、また適切な対策について地域の皆様さんにご相談しながら、今後、整備について検討させていただきたいと考えております。

それから、旧小学校の跡につきましては、民地ということで、すぐに手を加えるということではできませんけれども、ただ、この公民館それからグラウンドの敷地と一体になっているものですので、どういうふうなことができるか、民地の所有者のこともございますし、これは検討課題とさせていただこうと思います。

法面の整備等についての調査とか検討をするにしても、すぐにできるということでもありませんので、当面、この植栽を、地域のかたのお力を借りてできたらありがたいなと思っております。またご協力をお願いしたいと思います。今後検討に入るときにも、地域のかたと十分相談をさせていただきます。

(地元意見)

北側にある小学校の件です。多分河原町は売却したんだろうと私は認識しているんですけども、廃墟になっていて、非常に見苦しいというのが率直な気持ちなんです。それで、あれを何とか市の方でならないだろうかということをお聞きしたいんです。

(地区公民館長)

私も実は校舎の問題について、何とかならんもんだろうかという声を、公民館におりまして耳にしております。

(支所長)

あちらにつきましては、地元のかたもすでにご存じのとおり、家具の製作所の所有物件になっています。河原町の時代に、そちらの企業に敷地も含めて、倉庫として売却したという経過です。その企業も景気がいい時には倉庫として十分な活用をされていたんですけども、現在どうも事業の方があまり進んでいないような状態で、ここ10年ぐらい、動きが見えてないということです。

(企画推進部長)

古い、廃墟というような表現をされましたけども、我々もここを訪問しまして、いつも感じているところです。そういうご意見もございますので、売却して民有地に民間の建物という具合になっており、相手があることで、相手と話をする必要もあるとは思いますが、どういうことが市としてできるのか、調査なり検討なりをさせていただけたらと思います。少しお時間をいただきたいと思います。

(竹内市長)

この建物ですが、土地も建物も河原町時代に事業者が売却が終わっているということで、再度、地元の皆さんと、どういうふうにか考えるかです。きょうのテーマとしては、買うとか買わないとか撤去するとかではなくて、西側の斜面の改修をとということになります。やっぱりこれは旧校舎をどう考えるかということを中心に方向づけをした上でないと、企業の所有地に公費を投下してというようなことにもなりません。そこが仮に危ないというようなことになれば、所有者の責任という部分も通常は考えられるわけです。ですから、そういうようなことを考えますと、今後の国英地区の皆さんとの課題として、この問題を放置することなく話し合っ解決に向かえないかと、こういう気持ちでおるところです。国英の地域でのいろんな事業の展開もございますから、そういったことなども念頭において、どういうかたちにしたら一番いいのか、どういう活用を図るかというようなことも当然含めて、どういう整備をしていったらいいのか、引き続き話し合いをさせていただきたいなと思っております。

グラウンドも含めて、この公民館の敷地の整備がだいぶ進んできておりますので、次の課題ということで考えていくべき事柄ではなかろうかと思っております。またこれは地元からのいろんな声を受けて、市としても地元と一緒にやるというふうにか考えております。ちょっと補足をさせていただきました。

7 市政の課題についての意見交換（フリートーク）

(地元意見)

6項目ほどあるんですが、まず大きな項目では、市のホームページのことについてが1項目、これに関連して2項目目が情報公開について、それから3番目が市の重要課題になっておりますけども、雇用創造と地域振興についてということで、きょうの懇談会にも大いに関係があると思います。4点目が、これは大きな問題ですが、ごみの問題と工業団地の問題です。5点目、4番に言っておるごみと工業団地の問題では、賛成の人ばかりじゃないです。それで、現在民事訴訟で裁判になっているんです。なぜ裁判までして反対しているのかということ、もう一度皆さんで考えてほしいということ、訴えたいんですよ、この場で。6番目はごみと工業団地のスケジュール、今後のスケジュールについて早めに住民に教えていただきたいということです。6項目です。

以上ですが、具体的に1番、ホームページ、最近テレビであるいはラジオでも言われて1月から市のホームページが新しくなって非常にいいことだと思いますが、これは2番目に言った情報公開と関連しますけれども、とにかくいつでも誰でもどこからでも、しかも情報っていうのは早く正しく見えないといけないと思うんです。それに合わせて、もうひとつ大事なものは、情報の共有化ということです。共有化というのは、市の行政の方の共

有もありませんけれども、私たち住民の方も同じことを共有していかないと、このまちづくりっていうものはよくなると思うんです。国英のまちづくりというものは。そういうことがありますので、情報公開というものをさらによく考えていただいて、いつでも誰でも、どこからでも早く正しく、そして共有化できるという方向で、今回のホームページが変更になったことに合わせてお願いしたいと思います。このことは、私は18年頃から市の方や東部広域にも申し上げております。それから、ホームページの関係を初めに言いましたけど、市長の写真の下の方に重要施策というのがあります、市庁舎整備、可燃物処理施設建設、それから小中学校の耐震化、保育所耐震化が挙がっております。その他に工業団地とか、観光関係が挙がっております。それで、今回見ましたら、初めて市のホームページにごみの問題と工業団地のことが挙がっていました。私は反対しているんです。以前からずっと、18年、20年も22年も反対していますが、ごみはごみだ、工業団地は工業団地だということでそっぽを向けられました。しかし住民からすれば行政とはなんだということです。東部広域も行政ではないんですか。それからきょうの新聞を見ましたら、土地開発公社のことが出ていました。工業団地の買収はどこがやるんですか。いま言いましたように、訴訟までしてなぜ反対するかということを経験しているということを承知していただきたいと。

(支所長)

簡単に要点だけを。

(地元意見)

それでいいです。さっき言った6項目で、あと県との関係、林野庁との関係でスケジュールがどうなるかを教えていただけたらと思います。林野庁というのは、これは保安林の関係です。それから県との関係は林地開発の関係です。まだ農地の問題等もありますけれども、以上です。

(支所長)

雇用のことの説明はよろしいんですかね。説明はありませんでしたけれども。

(地元意見)

できるところは各部長さんからでもお願いしたいと思います。

(副市長)

多岐にわたってお尋ねいただきましたので、まず全体についてお答えをさせていただきたいと思います。市のホームページ等についてはすでにご覧いただいていると思いますが、最近これを全面的に見直しまして、分かりやすいかたち、閲覧をさせていただきやすいかたちに改善をしたところです。これからも情報公開についてはしっかりと取り組んでまいりたいと思いますし、情報提供についてもいままで以上に取り組んでまいりたいと考えております。

それから、重要課題ということで雇用の関係にも触れていただいたように思いますが、

鳥取市では雇用創造戦略方針ということで、これは35の事業について取り組んでおりまして、最初4年間で2,000人の雇用創出を図るということでしたが、これは達成しましたので、さらに目標を5,000人ということで取り組んでおります。雇用の確保拡大は市政の当面の最重要課題と位置づけて、取り組んでおるところであります。

ごみ可燃物処理施設と工業団地について、賛成ばかりではないというお話をいただきました。これは我々も十分承知をいたしております。賛成のかたも、反対のかたもいらっしゃるということは十分承知しておりますが、この可燃物処理施設の整備は、鳥取市はもとより、この東部圏域1市4町の最重要課題であると考えております。と言いますのが、現在この東部には神谷清掃工場をはじめ、4ヶ所の可燃物処理施設がございますが、いずれも老朽化が進んでおります。それで、一番大きな可燃物処理施設であります神谷清掃工場につきましては、稼働期限が今年度末の25年3月まででありましたが、新しい施設がなかなか建設の見通しが立たないということで、この度、当面4年間の延長のご了解を地元の皆さまにいただいたところです。東郷地区の皆さまからも、この新しい処理施設が1日も早く完成するようというお話をいただいておりますので、これからも賛成のかた反対のかた、いろいろといらっしゃいますが、ご理解をいただけるように我々も努力を重ねてまいりたいと考えております。

スケジュールについてですが、工業団地につきましては、基本設計、実施設計ということで、25年度には用地買収等がもう少し必要ですので、これはぜひとも実施をさせていただきたいと思っております。それで、現在は排水路の整備について、すでに工事に着手しておるところです。それから、可燃物処理施設についてであります。平成22年6月から平成23年9月まで、環境影響評価の現地調査を実施させていただきました。現在は環境影響評価準備書を県に提出して、幾つか県の方から指摘をいただいておりますので、これについて対応させていただこうとしておるところです。間もなく環境影響評価については一連の手続きが終了しますので、いよいよ建設について地元のご同意をいただきたいということで、いまお願いをさせていただいております。先ほど申し上げましたように、神谷清掃工場の、平成29年度までの4年間の稼働延長をお願いしたところですので、できる限りこの4年間で何とか新しい施設が完成するように努力をしたいと思っております。引き続きよろしくお願いたします。

(環境下水道部次長)

ご指摘のあった保安林の解除、これは工業団地等も含めてのお話だと思いますけれども、いま現在、工業団地の方は県を通して協議をなされておられます。それから、可燃物処理施設につきましては、先ほど副市長が申しましたように、平成29年の4月に稼働ができるように、これから具体的な話を詰めて行くことになると思います。25年度のうちにはそういう一連の手続きも行っていきたいと東部広域では考えていますし、鳥取市としても東部広域の事業に、側面的にですが全面協力をしながら、29年4月に新しい焼却施設ができるように、東部広域と一緒に努力をしていきたいと考えております。

(地元意見)

昨年の秋から、200円バスが三谷の方というか、国英地区の郷原とか山手を回ってい

るんですけど、何か地区の住民の方にあまり宣伝がよく行き届いてなくて、乗り方とか、利用の仕方がよく分かんると、年寄りのかたから問われるんです。もうちょっと鳥取市の方で宣伝というか、利用してくれというような広報をしていただきたいと思っているんです。

(都市整備部次長)

いまお話がありましたように、昨年10月から、南部地域で実証運行をしています。乗り方等の宣伝についてお話をいただきましたけれど、これは国英地区だけでなく、他の地域でもそういうご意見をいただいています。本格運行を今年10月以降に目指しているんですけど、それに向けて、いま、内容を見直しているところです。宣伝についてもしっかり皆さんに周知できるような方法を、もう少し検討して徹底していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

(竹内市長)

バスの利用をぜひお願いしたいと、日頃思っているんです。いまご指摘いただいたのは重要な点で、なんとかバス利用を盛んにする取り組みを考えてもらいたいと思います。国英の方に回っているバスは、リバーのところの乗り換え地点に行くようになっているはずですが、そういう仕組みで巡回するようなことができていると思います。鳥取市の方での宣伝は、これは一生懸命やらせていただきます。バスがいつ来るかよく分かんないということがあり得るわけで、バスの運行ダイヤを、地図みたいなものと一緒に配っていると思うんです。だから、それがあまり知られてないということであれば、例えば、集落ごとに説明会を開くことも考える必要があるかもしれません。

国英のかたの利便性を考えると、それから河原町全体がもっと高齢化が進んでくると、やっぱりバス利用というのが増えてくると思います。地域均一の200円バスっていうのは便利なわけですから、この取り組みを少し後押ししていただけるように、運動を展開していくことをちょっと考えたいと思います。地域の中で浸透させないといけないということは全くおっしゃるとおりなので、そういったことで進められるように知恵を絞ります。ですので、普段はお車を運転されるかもしれませんが、たまには乗ってやろうとか、家族も乗ってみようやということで、どうぞご利用の方もよろしくお願いします。

(地元意見)

村でそういう話をするんですけど、いまは、家の人を送り迎えされています。でも、村からはバスで出て、戻るのは迎えに出てもらおうというような利用方法もいいのじゃないかなと思っておるんです。あるいは家の人朝は送って出て、帰りは医者が済んだらバスの便を利用して帰ってくるというように、往復をしなくても、せめて片道でも使えというようなことを村の老人のかたには言っているんですけどね。この辺の利用の仕方とかそういったことを、市の方でもっと広めてもらわないと。

(竹内市長)

はい。分かりました。これからはなかなかよくやっているなというところが見えるよう

に、取り組みを進めたいと思います。利用者にとって喜ばれるようなかたちをいろいろ考えてみますので、よろしく願います。ありがとうございました。

(地元意見)

鳥取市は広くなり、いろんなところからいろんな要望が出ていると思うんですけども、工業団地とか可燃物処理施設はちょっと置いておいて、鳥取市全体という中で、この南の方の河原地区をどういうふうに将来的に開発していこうという構想というか、そういうものがあればちょっとお聞きしたいなと思います。

(竹内市長)

河原町の地域の、市全体から見た位置づけについてのご質問だったと思います。河原の地域は、18年4月でしたけれども道の駅を作りましたし、高速道路で河原ICができましたね。そして、課題となっていた河原中学校の校舎を整備するというようなことで、新しいものも含めていろいろと施設整備をしてきました。また特に高速道路のネットワークは、この河原ICから、今度は八頭町の方に河原インター線が延びていますが、この春に29号線とタッチするところまで開通するわけです。この考え方は、この河原町の地域はやはり鳥取市南部地域の中核的な地域であるという位置づけのみならず、東部全体のひとつの大きな要であるということです。したがって、これからもいろんな分野でそういった位置づけの下で開発というか、整備を進めていきたいというふうに思います。その中で、交通の利便性が高いというようなことで道の駅の話もしましたが、工業団地なども同様な観点で位置づけておまして、すでに、この工業団地に進出したいという山陽側の企業からの声も出ております。ですから、これからもどんどん増えると思います。鳥取市としては、若葉台の横にある新津ノ井工業団地がほぼ埋まりまして、大きな工業団地はもうないわけですね。従って、これからは河原工業団地に企業などの立地を促進していくと、そういうような状況になっております。

それから、もうひとつは中山間地域と言いますか、そういったものとしての取り組みです。例えば西郷地区であったりしますが、河原町のそれぞれの地区でいろんな取り組みがなされているのをご存じかと思います。過疎化、高齢化がどの地域も進もうとしていますが、一方で特色のある農山村として、豊かな自然を活用するということがあります。西郷地区の名前が出たので続けて話しますと、北村の方に作った解体施設ですね。これまでは害獣だと思われていたけども、イノシシとかあいつたものを使って、ジビエ料理とか、それから民宿といった新たな活用まで考えていこうとしています。それから、あゆっこ園などで判るように、子どもたちの教育にも力を入れています。また、河原第一小学校のところにある旧幼稚園ですね。こども里山保育っていう名前を使っているんですが、市街地で保育をしているNPO法人が街なかの保育だけではやっぱり自然に親しむことが足りないということで、旧河原幼稚園を使って、隣接したところの畑を活用しようとか、土にも親しむようないろんな話もできてきております。たくさんのいろんな取り組みが、こういう河原の地域の特性を活かして活性化させるようなものとして展開されております。ですから、地域の特色を活かして地域を支えようという考え方がもうひとつ大きな柱としてあります。

すなわち、この地域が、この鳥取市の大きな南部地域の中で核となっていて、いろいろな意味で交通の利便性も高いというようなことで、道の駅やこの工業団地等も早々に整備をしましたし、そういったことで、経済的に発展していったり、雇用の場となったりというようなことと同時に、現在あるこの河原地域の特色を活かした、中山間地域の活性化もやっていこうということで、教育施設などが老朽化していたのを新しくするといったことにも力を入れようと、大きく言えば、そういう2つを念頭においております。主な柱としてはそのようなことが挙げられると思います。そうしたことで、重点をおいて整備に取り組んでいるということでもあります。きょうは所長も来ているのでちょっと紹介したいんですが、河原拠点地域振興センターという組織を作って、地域の振興に力を入れる、そういった重点的な取り組みをしようとしております。これは鳥取市内の他の地域にはどこにもないのですが、地域の振興に特別に力を入れるための本庁の出先の事務所を、総合支所の中に置いております。

国英の地域も、以前は小学校があり農協があり、いろんな施設もあったんですが、だんだんなくなってきたりした歴史がありますよね。だいぶん前、子どもの頃ですが、霊石山には私も上がって、この平たいところを見て、これはすごい山だなと思ったことがあります。道の駅も国英地域ですし、そういうことで、いまの霊石山の登山道なども、ハンググライダーだけじゃなくて、改めてもっともっと国英の特色を活かしたこの地域の活性化を、実際若い人もこちらで住んで、ここは非常にいいところだなというように言ってもらえるような、この地域の整備を進めようと考えています。いろんな絡みも当然あつてのことではありますけれども、地域振興に格別に力を入れようという姿勢で、いま向かっておりますので、その点をご理解いただきたければ、たいへん幸いです。

(地元意見)

国英がよくなるようお願いします。

(竹内市長)

分かりました。

(地元意見)

私はいままでもずっと懇談会に出ていますけども、本音と建前というのがあるみたいです。きれいごとを言っている。例えば、霊石山でもいいんですよ。だけど、国英の地域の人は何人あそこに上がるんですか。それでしたら、ごみとか、工業団地の問題をもっと真剣にここで議論したりして、答えがほしいんですよ。あとからでもいいですから。ホームページでもいいですから、私はホームページ見ますから。大事なことじゃないですか、こういう重大なことは。だから、そういう具合にしてください。

(支所長)

はい。そういうご意見もあったということは、記録させていただきます。けれども、今回の地域の課題につきましては、国英の地区の自治会の会長さん、皆さまが集まられて、この課題について鳥取市の執行部のかたと議論をしようということで挙げられた課題です

ので、その点をご承知いただきたいと思っております。

8 市長あいさつ

皆さん、本当に長時間にわたってご参加ありがとうございました。たくさんのご意見をいただいておりますが、これらを十分に踏まえて議論を進めていきたいと思っております。当然のことですが、工業団地とか可燃物処理施設については、いろんな関係者、地権者の皆さまがたと説明会を開いたり、国英だよりというようなことで情報を発信したりしております。この地域づくり懇談会の場だけではなくて、いろんな機会に情報は出させていただいているつもりです。また我々も情報公開、あるいは情報提供ということには引き続き努力をさせていただき、地域の関係者の皆さんとの話し合いを決してないがしろにするようなことはなく、誠心誠意これに取り組んでまいりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。ちなみに工業団地と可燃物処理施設の建設の問題は、前回、平成22年の地域づくり懇談会のテーマにもなっております。館長さんはご記憶あるんじゃないですかね。ですから、そういうのを取り上げていないということでもない和我々は認識しております。今回はたまたま直接それに該当する地域の課題というものがありませんでしたが、地域の中でそうしたテーマを選択して話を出していただければ、我々は、それはいけないとかいいとか、そんなことを言うことは考えておりませんので、地域の課題としてしっかりと議論していく、いつでもそんな姿勢でおります。

先ほど、国英の地域の将来の展望はどうなんだというようなご質問もいただきました。あらかじめ用意をしてくれているわけじゃないので、私がいつも思っていることを、まさに本音でお話させていただきました。ちょっとごみの問題に戻って恐縮ですが、鳥取市として、あるいは東部1市4町全体として大きな課題です。そして、可燃物の処理だけではなくて、それに伴っていろいろと地域にとってのプラスがあるような、例えば電力を発生させるとか温水を活用するというようなこともきっと出てくるわけですね。いろいろなかたといろいろなお話、相談をさせていただいて、そういう中で、ご理解をもっともっと広めていきたいなど、そういうふうにも思っております。用地についても、6ヶ集落の皆さまの共有地がかなりたくさんあるということをご承知しておりますし、そうした関係での話し合いも、さらに深めさせていただきたいと思っております。ここは、新たな可燃物処理施設の整備についての説明会とかお願ひとかいうことではないので、本格的な議論と言いますか、お願ひはまたいろんな機会を通じて担当の方からもさせていただこうと思っておりますが、地域との話し合いの重要な機会ですので、改めて私からのお願ひということで申し上げます。

今年一年が皆さんにとりまして、本当に明るい良い年になりますように。このいきいき国英ふるさとづくり協議会のいろんな事業についても、ぜひとも、総合支所等々も協力され、それから、地域の皆さんの力を結集されて、より盛り上げていただく良い年になることを願っております。きょうはどうしても限られた時間なので、お話ししたいかたももっとあったと思いますが、個別のいろんなご相談も、ご連絡をいただければ、いつでも応じたいと思っております。そういったことも最後に申し上げさせてもらいまして、締め括りにさせていただきます。きょうはどうもありがとうございました。